

八戸で来春高卒者の就職面談会 生徒96人 説明に耳傾ける



生徒が企業の事業内容などを聞いた就職面談会。9日、八戸プラザアーバンホール

八戸、三沢、野辺地の各公共職業安定所などは9日、八戸プラザアーバンホールで、来年3月卒業予定の高校生を対象とした就職面談会を開いた。青森県南地方の16校の生徒96人が参加し、県内外の企業から業務内容などの説明を受けた。

早期の就職内定や職種の不マッチによる離職の防止を図り、生徒の職業選択の幅を広げることなどを目的に、毎年開催している。企業は昨年を1社上回る100社が参加。生徒が各社のブースを回り、人事担当者から事業や求人内容、人材育成の方針などを熱心に聞いた。延べ面談件数は293件に上った。

八戸学院光星高3年の男子生徒(18)は「建設工事や

アパレル関係など、さまざまな業種に関心がある。自分に合った仕事を見つけた」と話した。

八戸職安によると、9月末現在、管内の高卒予定者のうち就職を希望しているのは826人。就職地別で見ると、管内を希望する411人に対し、求人数は1375人で、求人倍率は3・35倍に上る。

八戸職安は「生徒が企業の情報に理解を深められる機会をつくり、不マッチによる離職を防いで就職の定着化を図りたい」としている。(松原一茂)